

令和6年度 子どもゆめ基金助成活動
2440016 『除雪奉仕体験活動』
実施要綱

石狩中央ソーシャルネットワーク研究会
会長 上田 正英
副会長 駒ヶ嶺 剛史
事務局 小川 幸彰

- 1 主催 石狩中央ソーシャルネットワーク研究会
〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条7丁目2番25-301号 日本SNS推進機構 内
- 2 活動日時 協議会 令和7年11月17日(日) 午前10:00～
下見 令和7年12月15日(日) 午前10:00～
活動日 令和7年1月12日(日) 午前08:30～12:30 バス有 移動スタート08:45
活動日 令和7年2月8日(土) 午前08:30～12:30 バス無 移動スタート08:45
活動日 令和7年2月16日(日) 午前08:30～12:30 バス有 移動スタート08:45
- 3 集合場所 石狩中央リトルシニア球団屋内練習場前 対馬/吉田/岡本 〒061-3218 石狩市花畔207-13
- 4 参加者 定員20名/日 公募期間: R6.12.13(金)～R6.12.26(木) 平日: 午前10時～午後4時
- 5 参加料 無料 (公募対象者: 小6年～中学2年)
- 6 活動地域 ・石狩市花川北 白樺会館周辺 (自治会要望がある場合は、会館徒歩圏内の高齢者宅)
・石狩市 親船東 / 八幡地区 ・札幌市北区 ビレッジハウス新川 高齢者の物置前除雪

- 7 活動趣旨 子どもの総生活時間うち学校時間は、増加傾向、学校外時間は、減少傾向との文科省の発表があります。この傾向は、子どもと地域との希薄を伴い顕在化してきました。
この活動は、地域の社会教育の場としての機能をもって、子どもが、多世代の大人とともに地域の解決課題に取組み学校で体験できない『面識のない大人とのコミュニケーション力』『大人と協働する力』を社会貢献活動を通じ体験し『思いやり』『地域愛』ある豊かな人間性を育むことを活動の趣旨目的とします。

A: 良質な異世代とのコミュニケーションの試行

参加者が円滑なコミュニケーションをとるためには相手への敬意ある『挨拶表情態度』が重要であることを、町内会役員・指導員との協働活動を通じ再認識させたい。また、コロナ禍の場合、本来の声による挨拶と異なるマスク着用挨拶となり、お辞儀や目の表情などにも配慮したコミュニケーションも試行させる。

B: 地域人・社会人としての役割への気づき

参加者を面識ない異世代の住民や指導者とともに小グループに分ける。そして、各参加者の『他者と協働する力』を、総合的に試行させる。協働活動終了時、その達成感をもって、各参加者が『自分が地域から必要とされていること』『自分は、責任を担う地域住民の一員であること』への『気づき』を促す。

C: 地域要擁護者や持続可能な奉仕活動の地域連携・住民協働の必要性への気づき

参加者は、学校時間では体感できない地域解決課題に実践的に取り組み、住民が1人では解決できない地域解決課題や社会問題の改善活動を体験します。この活動への参加を機に、参加者が関わる地域に更なる関心を持ち、地域課題の解決意識を高揚させ、コロナ禍でも、地域要擁護者を守る活動への気づきを促す。

- 8、その他 1. 指導者の皆様は、上記の通り、この活動が、福祉活動ではなく、青少年の体験学習活動(地域貢献 体験学習活動)である点にご配慮ください。また、参加者公募ポスターにある注意事項をご承諾の上、当該活動の指導・運営にご協力ください。
2. 当該活動の様子については、SNS・HP等への無断掲載・投稿をご遠慮ください。